

保護者様

北九州市立港が丘小学校
校長 上 杉 良 子

平成28年度学校評価票の結果と改善方針について

余寒の中にも、日差しの暖かみを感じられる季節になってまいりました。

保護者の皆様方には、日頃より本校の教育活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、1月に配布しました「学校評価票」に、多くの保護者の方々のご記入くださり、ご提出いただきましたことに深く感謝申し上げます。本校の教育活動改善のために、たくさんの貴重なご意見を頂戴しました。それらを集約させていただき、全児童による自己評価結果も踏まえて改善方針をまとめました。

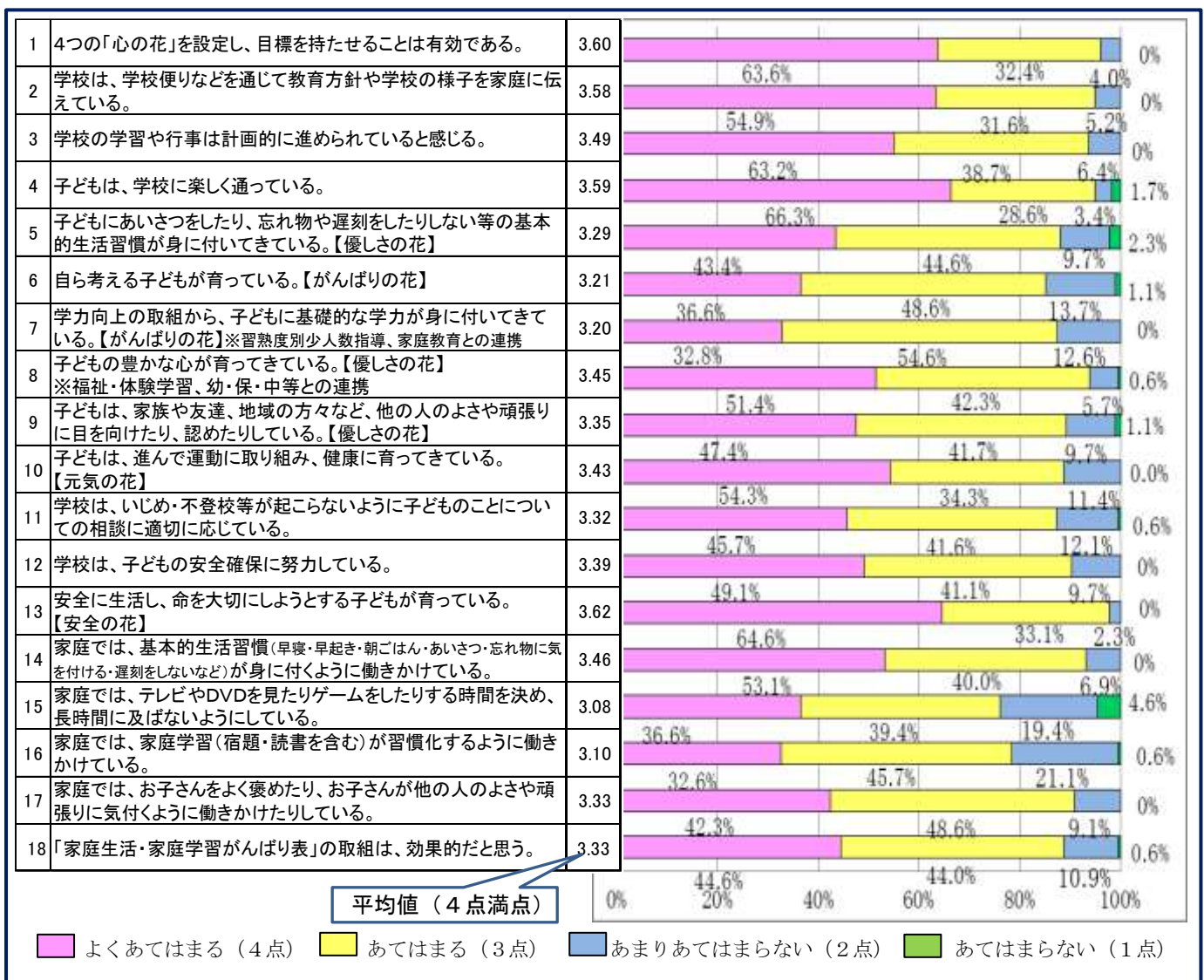
皆様方からいただいたご意見は、多岐にわたっておりましたため、重複した内容や個別にご返答すべき事柄等、掲載してないご意見もあります。予めご了承ください。

「学校評価票」や学校評価委員会でいただいたご意見を参考に、港が丘小学校のよりよい学校教育の推進に役立ててまいりたいと考えます。今後とも、ご支援とご協力を賜りますようお願い致します。

記

1. 評価項目の集約結果

平成28年度「学校評価票」項目別集計結果



昨年度の結果と比較し統計処理をした結果、問9「子どもは、家族や友達、地域の方々など、他の人のよさや頑張りに目を向けたり、認めたりしている。」・問11「学校は、いじめ・不登校等が起こらないように子どものことについての相談に適切に応じている。」・問12「学校は、子どもの安全確保に努力している。」・問13「安全に生活し、命を大切にしようとする子どもが育っている。」の4つの項目で、高くなっています。また、問7「学力向上の取組から、子どもに基礎的な学力が身に付いてきている。」が、若干高くなっていました。他の項目につきましては、昨年度と同程度で有意差は見られませんでした。本年度、新たに加えた問18『家庭生活・家庭学習がんばり表』の取組は、効果的だと思う。」については、平均値が3.33で、肯定的な回答が多かったことから今後も継続し、基本的な生活習慣や家庭学習の定着化が図られるように働きかけたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

昨年度から加わりました問14～17につきましては、問14「家庭では、基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん・あいさつ・忘れ物に気を付ける・遅刻をしないなど）が身に付くように働きかけている。」に対し、「よくあてはまる」と回答された方の割合が53.1%と昨年度より9.3%も高くなっています。同様にして、問15「家庭では、テレビやDVDを見たりゲームをしたりする時間を決め、長時間に及ばないようにしている。」では8.7%、問17「家庭では、お子さんをよく褒めたり、お子さんが他の人のよさや頑張りに気付いたりするように働きかけている。」では11.4%も昨年度より高くなっており、積極的な働きかけをしてくださっていることに感謝申し上げます。問16「家庭では、家庭学習（宿題・読書を含む）が習慣化するように働きかけている。」は、昨年度とほとんど変わっていません。基本的な生活習慣の定着は、今後の生活に大きく影響します。また、褒められる経験や他の人のよさや頑張りを認めようとする気持ちは、自己肯定感、有用感や自信、さらには自他ともに大切にしていこうとする心へと繋がっていくものと考えます。テレビやテレビゲーム等の接触時間については、本年度も「全国学力・学習状況調査」や「生活アンケート」から、本校は大変長いという結果が出ていることを受け、学校でも、生活時間全体を見直し、規則正しい食生活の大切さや自由時間の過ごし方、長時間ゲームをすることによる様々な影響等についても指導をしています。しかし、その実践力を高めていくには、保護者の方々のご協力なしには進みません。今後とも継続してご協力いただきますようお願い致します。

2. 学校の教育についての感想・意見から

< よかった点 > 学校の取組や職員への励ましのお言葉、子ども達の成長した具体的姿などをたくさんご記入いただきまして、ありがとうございました。私たち職員一同励みになりますとともに、ご期待と信頼にお応えせねばという強い思いがしております。お子様の力をさらに伸ばすことができるよう、全職員で充実した教育活動に努めて参ります。今後とも、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

- ❖ 現在の指導を信念をもって一人一人の大人（先生）が取り組み続けてほしい。
- ❖ 自分も人も楽しく学校生活を送れるための厳しさと優しさの使い方をこれからも指導してください。わが子はいじめのないクラスで楽しいと言っています。担任のおかげだと思っています。
- ❖ とても子どもたちの様子を気にかけてもらい、一人一人の成長が見られる。担任の先生には、とても感謝している。
- ❖ 子どもが友達関係に悩んでいた時、先生が熱心に相談にのってくれた。
- ❖ 外遊びをすることが増えた。担任の先生がお忙しい中、子どもたちと遊んでくださりありがとうございます。
- ❖ 校長先生が、朝の登校時間に雨の日も強風の時も挨拶して下さり、お寺のところで見守ってくださることは、とても子どもたちを大切に思っていると感じていると感謝している。

- ❖ 12年間、4人の子がお世話になった。挨拶をする大事さ、地域の方々とのふれあい、体を動かすことの楽しさ、集団のよさ、すべて小学校で教えていただいた。
- ❖ 子どもの習い事に先生方が理解をしていただき、声をかけてくださりありがたかった。
- ❖ みんなのびのびと学校生活を送り、挨拶もよくしてくれる。
- ❖ よく挨拶ができる子が多いと思う。
- ❖ 基本的生活習慣への取組は、続けていってほしい。
- ❖ 毎日漢字の小テストがあり、自然と身に付いたと感ずるので、上の学年でも実施してほしい。
- ❖ 少人数指導や交流学習は、続けてほしい。学力の差を少しでもなくし、子どもが自己肯定感をもつのに必要ではないかと思われるから。自分と立場が違う人たちの心を思いやることのできる人間に育つには、交流学習は有意義だと思われる。
- ❖ 以前に比べて、学力向上に力を注いでくださっていると感ずる。
- ❖ ひまわり学習塾の取組。
- ❖ 学習に対し意欲をもって取り組んでいるところを更に進めてほしい。
- ❖ 九九の熱心な取組(2年生は担任の先生と校長先生に、3年生は校長先生に一人一人かけ算九九を聞いていただき、合格証もくださること)は、とても感服した。
- ❖ 「家庭生活・家庭学習がんばり表」は、表に○×を付けていくことで、守れていること、いないことが可視化され、親子で力を入れるところが分かりよいと思う。
- ❖ 「家庭学習がんばり表」のおかげで、宿題以外の勉強もするように声をかけやすくなった。高学年では、1週間の目標など、スケジュールを立てていくようにしてあるのもいいと思った。
- ❖ 「家庭生活・家庭学習がんばり表」は、目標を立てて振り返ることでメリハリがついてよいと思う。
- ❖ 「家庭生活・家庭学習がんばり表」は、大変有効だった。今後も続けてほしい。
- ❖ 「家庭生活・家庭学習がんばり表」は、生活習慣が身に付くのでいいと思う。

＜ 改善点 ＞ご意見をいただき、ありがとうございました。すぐに生かしたい・取り入れたい・既に行っていることを◎、時間を少しいただいて着実に成果をあげられるよう取り組みたいことを○で表しています。

・ 学校の行事は、もっと早く知らせていただきたいです。

◎ お仕事等の関係で、学校行事の日程をお知りになりたいと思っておられる方が多いと思い、年度初めの学校通信の4月号には、1年間の主な行事予定を載せ、その後、毎月初めの学校通信には当月と翌月の行事予定を載せるようにしています。また、行事によっては、翌々月の予定も記載(例えば、2月号には次年度4月の始業式や小学校入学式、中学校入学式など)しています。学校通信につきましては、学校のホームページにも掲載していますので、そちらでもご確認いただけます。さらに、学校ホームページには「学校行事」として、1年間の主な行事予定を月ごとに載せていますので、併せて確認されるとよいかと思ひます。その他にも、学年通信やPTAの理事会だよりでもお知らせしています。

なお、北九州市立小・中・特別支援学校のその年度の卒業式と次年度の入学式の日程は、毎年9月に決定しますので、10月号でお知らせしています。予めご了承ください。

・ サイトの更新をまめに行ってほしい。大きな行事の日程等を載せていただくと助かります。

↳ ◎ 毎月1回（ICTサポーターの来校日）、学校通信等を更新していますが、本年度は、トップページの年度を更新し忘れて、「平成27年度」となっていました。学校通信や学校行事等の中身は本年度分でしたが、トップページだけを見られて、他を開かれなかった方には大変ご迷惑をおかけしました。申し訳ございません。早速、訂正しました。その他にもお気づきのことがありましたら、ご連絡いただくと助かります。

・ 学校で使うもの（材料など）は、もう少し早くお知らせくださるとありがたいです。

↳ ◎ 余裕をもって準備できるように心がけたいと思います。

・ 「家庭生活・家庭学習がんばり表」は、同じ書式だと飽きるので、変化をつけると長く効果がもてると思う。

・ 「家庭生活・家庭学習がんばり表」は、1年を通して行うのは大変だが、用紙を別のファイルに作成して記録に残せば、1週間前はどうか、1ヶ月前は…と、反省しながら成長し、振り返っていけば励みにもなると思う。

↳ ○ 書きやすくて分かりやすく、効果もさらにアップするような書式や綴じ方、活かし方などについて検討してみたいと思います。

・ 自分の考えをまとめ伝える力をつけるために、日記の宿題があればよいと思います。

↳ ○ 自分の考えをまとめ伝える力については、現行の学習指導要領においても、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等をバランスよく育むことが求められています。そして、各教科等の指導に当たっては、それらの力を育む観点から、言語に対する関心や理解を深め、言語環境を整え、児童の言語活動を充実することとなっています。そのため、本校でも、すべての学習の基盤である言語に関する能力を高めるために、国語科の授業のみならず全ての教科等において、発達の段階に応じた言語活動（自分の考えをノートやワークシートにまとめたり、それを基に隣席の友達や小グループで意見交換を行ったり、学級全体で議論したり、観察・実験・実習後にレポートや新聞を作成したりなど）を取り入れるようにしています。また、朝自習の時間を活用し、質問者と回答者を交代で行う活動を全校で取り組んだり、日記を毎週決まった曜日に書く活動を年度当初から継続的に行ったりしている学年もあります。ご提案いただいた日記の宿題も取組の一つとして検討してみたいと思います。

・ 学力向上をさらに進めてほしい。

↳ ◎ 学力向上は、本校の重要課題であると全職員が認識し、指導形態や授業方法などを工夫し、授業改善に努めるとともに、家庭学習の定着化を促進しておりますが、次の「改善方針」に沿って、さらなる改善を図ってまいります。家庭学習の定着化や家読（ウチドク）の推進等につきましては、保護者の皆様もご支援、ご協力をお願いいたします。

・ 勉強でわからない所を先生にすぐに聞けるようにしていただくと有り難いです。

↳ ◎ 本年度の「全国学力・学習状況調査」の児童質問紙で「授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか。」の問いに対し、本校は「その場で先生に尋ねる。」と回答した児童が最も多く、その割合は、全国平均や福岡県平均の2倍以上も高いことから、聞きやすい環境にあるとは思いますが、少人数指導やTT方式（複数の教員による授業）を充実させたり、質問タイムを設定したりして聞きやすい環境づくりにさらに努めたいと思います。

・ 港が丘の子どもたちは、他校の子と比べて運動能力が低いような気がします。学力も大切だが、運動もがんばるから学力への気力もわくのではないのでしょうか。

↳ ◎ 知・徳・体をバランスよく育むことが肝要だと私も思います。ご指摘の運動能力についてですが、本年度実施し

た「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果が、つい先日戻ってきました。本校は、男女ともに、握力、50M走、ソフトボール投げの3種目が、全国平均及び福岡県平均を上回っています。課題としては、20Mシャトルラン（持久力を測定する種目）が、男女とも全国平均を下回っていることから、先日開催した持久力大会やそれに向けての取組の他に、1学期から毎週水曜日の中休みに全学年で縄跳び運動に取り組んでおり、今後も継続実施します。また、体育科の授業においても、課題の克服に努めてまいります。

なお、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の詳しい分析結果や今後の対応をまとめた学校通信を後日配布しますので、ご確認いただくとともに運動の習慣化に向けた取組についても、ご協力をよろしくお願いいたします。

・ 全てを受け入れることは難しいと思うが、けんかなどをした時、しっかり両者の話を聞き、納得のいく叱り方をしたい。

◎ ごもつともです。けんかになったときに、教師の出るタイミングは、その時々で異なると思いますが、いずれにせよ、双方の言い分や気持ちを十分に聞いて納得いくまで話し合い、反省点や改善点をしっかりと考えさせ、今後に生かせるように、家庭とも連携しながら行っていきたくと思います。

・ わが子も含めて、時代の流れでSNSを用いた友達とのやり取りが増え、先生方が対応に大変になっていると思います。低学年から頻繁に教育（講演など）が必要だと感じます。

◎ 本校では、基本的に小学生が携帯電話等を所持することを勧めていません。「港が丘小学校みんなのやくそく」では、携帯電話やスマホに限らず、学習に必要な物は学校に持ち込まないようにしています。しかし、ご家庭では、いろいろなご事情でお子様に携帯電話等を所持させ、使用させることがあるかもしれません。その場合は、各ご家庭で責任をもって使用させてください。学校では、情報教育の中で、子ども達に情報モラルや情報通信ネットワークへの安易なアクセス、情報を発信することの危険性やネット依存症による心身への影響等について、発達の段階に応じた指導・啓発は行っておりますが、それを徹底していきたくと思います。携帯電話やスマホ等は、便利な道具であると同時に危険な道具でもあります。そこで、日頃から保護者の皆様が責任をもって管理され、お子様へご指導やご助言をお願い致します。

加えて、昨年度から、年に1回ネットトラブル等に関するDVD（7～8分程度）を授業参観後に親子で視聴していただけるようにしています。本年度6月に実施した折に、放送や各学級を回って保護者の方々も教室でお子様と一緒にご覧いただくように声かけをしましたが、残念ながら極わずかな人数の方しかご覧いただけませんでした。次年度は、是非ご覧になって実践していただきたいと思います。

・ 子ども達の言葉遣いが非常に気になります。家庭でも注意をするので、学校でも厳しい指導をお願いします。

◎ 不適切な言葉遣い、特に相手を傷つける言葉については、厳しく指導するとともに、相手の気持ちを考えた言動がとれるように、次の「改善方針（2）」に沿った指導を全体でも個別にも継続していきます。また、そのような言動の背景にあるものについても把握し、改善に努めたいと思います。

なお、ご記入くださっていますように、家庭と学校とが同じベクトルで指導していくことが何より大切であり、効果的であることから、ご理解とご協力をお願いします。

・ 人の家の前にごみを捨てるなど、マナーが悪いと思うことがあるので、マナーを身に付けられるように指導を徹底してほしい。

◎ マナーについては、道徳の時間や特別活動、生活科、社会科、家庭科など、様々な学習場面で学んでいます。文

部科学省作成の「私たちの道徳」や北九州市教育委員会が作成した対人スキルアップのための「北九州つながりプログラム」などを活用し、自己の言動を振り返るとともに、望ましい行動の仕方について考えたり、体験的に学んだりしています。あいさつをしたりマナーを守ったりすることの大切さも含め、指導を繰り返しておりますが、徹底できていないと感じることもあります。しっかりと実践できるように引き続き指導に力を入れていきますが、もし、そのような場面を見かけられたら、遠慮なく注意していただきたいと思います。「北九州市子どもを育てる十か条」の中に、「声かけて 地域の宝 子ども達」とあります。地域の宝として、子ども達がしっかりと輝いていけるようにするためにもマナーを身に付けておくことが大切です。どうかご協力をお願いします。また、その十か条の中に「まず親が、きちんと実行 社会のルール」とありますように、特に低学年などは、親に限らず身近な大人がモデルとなる・手本を示すことが何より効果的であると言われております。学校でも、範を示すように努めていきたいと思っておりますので、保護者の方々もご協力を引き続きお願いします。

朝の交通指導をもう少し拡大していただきたい。細い道で車道に出ている子がいるので。

◎ 朝の交通指導の拡大につきましては、今、立ってくださっている範囲を拡大してより多くの場所に立つことを希望されているのか、立つ時間帯を拡大して長く立っていただくことを希望されているのか分かりかねますが、いずれにしてもいただいたご意見をPTA役員の方にお伝えします。細い道の通り方については、ご存知のように、本校区は広い歩道のある道路が少なく、道幅が狭くてカーブもたくさんあります。その上、交通量も多いです。そのため、ボランティアで地域の安全パトロール隊の方が、真夏の太陽が照りつける日も、寒さを通り越して痛さを感じるような真冬の日にも毎日交通指導に立ってくださっています。さらには、第2水曜日の下校時にも交通指導をしてくださっています。保護者の方々も交代で登校時に交通指導をしてくださっていますし、私も毎朝通学路に立ち交通指導をしています。また、教員も学期初めの数日間、校区の6か所に立って指導をしています。学級でも指導の徹底を図ってまいりますので、声掛けにご協力をお願いします。さらに、気付かれた時には遠慮なく注意もさせていただきますようお願い致します。

なお、地域の安全パトロール隊の方に、朝の交通指導拡大へのご協力をお願いすることは、ご負担をさらにおかけすることになり、大変心苦しく思いますので、お伝えすることは控えさせていただきます。

短い周期で個別に意見や悩みを聞くと、悩みの早期解決や、いじめがあった場合の早期発見・早期対応にもつながるのではないのでしょうか。

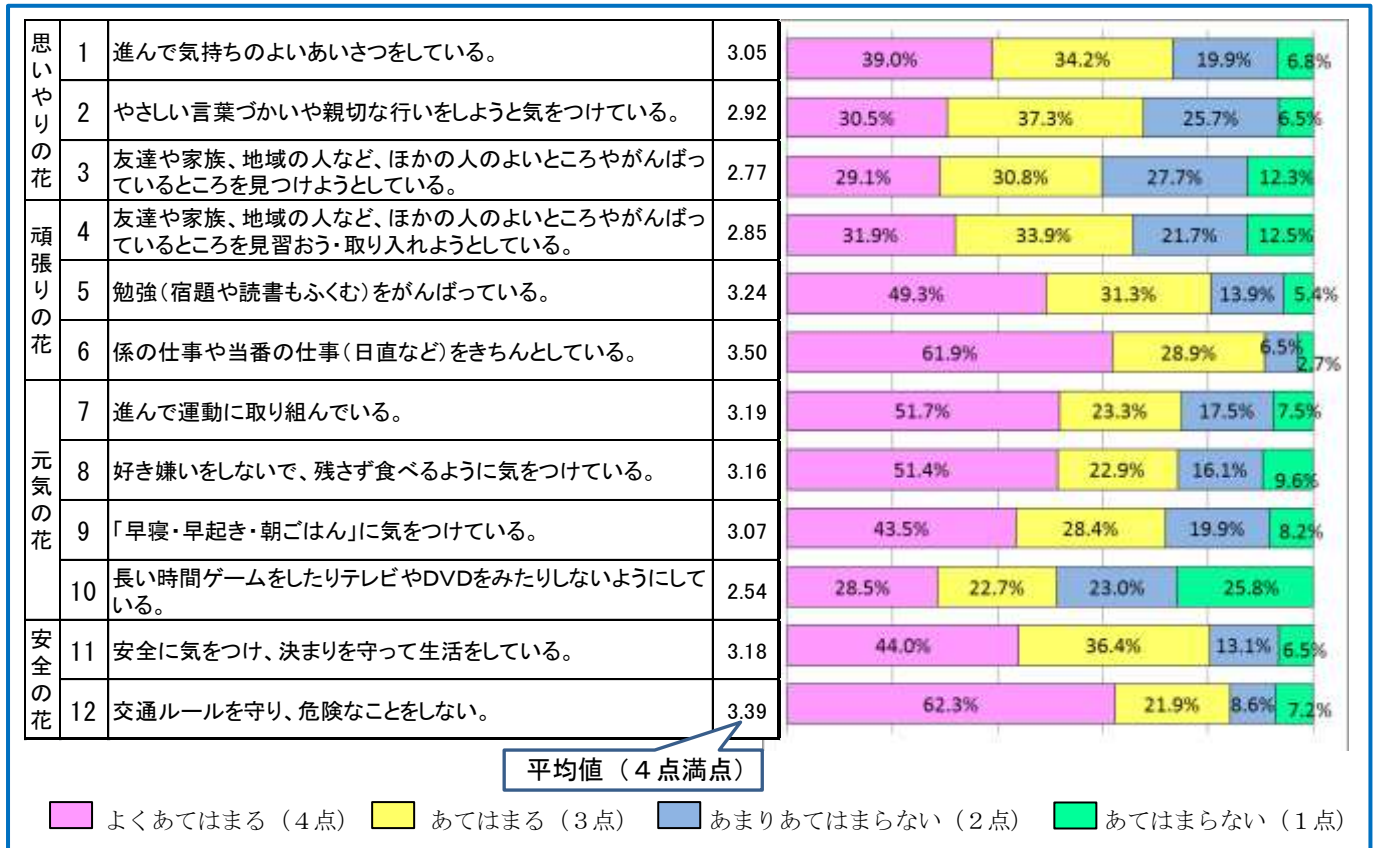
◎ 先ずは日頃から温かい学級経営・学級集団づくりに力を入れ、悩みを抱えなくて済むように努めたいと思っております。また、職員一人一人がしっかりとアンテナを高くして、小さな変化にも気を配ったり、いつでも相談しやすい環境を整えたりして居心地のよい学級・学校づくりをさらに進めます。個別に意見や悩みを聞く機会については、「いじめアンケート」実施後にいつも全児童を対象に行うとともに、必要に応じてその都度実施していますが、期間を短くすることについても検討していきたいと思っております。保護者の皆様も、お気付きのことがありましたら遠慮なくお知らせください。

本校の教育活動改善のために、様々な点からご意見を頂戴し、ありがとうございました。いただいたご意見を参考に、港が丘小学校のよりよい学校教育の推進に役立ててまいりたいと思っております。今後とも、温かいご理解とご協力をよろしくお願い致します。なお、港が丘フェスタに関するご意見につきましては、PTA行事であることから、PTA理事会等でお伝えしたいと思っております。

3. 児童による自己評価

2学期末に全児童を対象に「4つの花」の項目ごとに自己評価した集計結果が、次のグラフです。

平成28年度「4つの花についてのチェックカード」集計結果（2学期末実施）



問6「係の仕事や当番の仕事（日直など）をきちんとしている。」に対し、「よくあてはまる」・「あてはまる」と回答した割合や平均値が、他の項目よりも高いことから、責任をもって仕事をする事の大切さを折に触れて指導するとともに、やり遂げたことへの称賛を継続して行い、さらに高めていきたいと思います。

授業時間に限らず、休み時間や帰りの会など様々な場面で他の人達のよさや頑張りに目が向けられるように働きかけてはいますが、問3「友達や家族、地域の人など、ほかの人のよいところやがんばっているところを見つけようとしている。」・問4「友達や家族、地域の人など、ほかの人のよいところやがんばっているところを見習おう・取り入れようとしている。」に対し、肯定的な回答の割合があまり高くないことから、よさや頑張りを誉めたり認めたりして互いに高められるように、さらに積極的に働きかけてまいります。また、問2「やさしい言葉づかいや親切な行いをしようと気をつけている。」についても、先述した取組を充実させていきます。長時間に亘るゲームやテレビ・DVD視聴については、ご家庭の協力を得ながら、改善に努めます。他の項目についても、取組を強化したり、改善したりして高まるようにしていきたいと思います。

4. 改善方針

(1) 「豊かな心」を育むために

- 学校の教育活動全体を通じた道徳教育の推進・・・道徳的価値の自覚
各教科等の特性と子どもの発達段階を踏まえ、「道徳の時間」との関連を図った指導
- 道徳教育の要である「道徳の時間」の内容のさらなる充実
心に響く・道徳的な成長を自覚できるような授業をめざして
体験活動を生かした道徳の時間

- 道徳的実践力の向上
家庭や地域のご協力を得ながら、学校・家庭・地域において道徳的実践力が高まり、広がるような働きかけ
保・幼・小・中並びに地域・家庭との連携を強化し、心の教育の充実促進
- 自他のかげがえのなさを実感できる“要場所（いばしょ）”づくりの更なる推進
- 円滑な人間関係の構築やコミュニケーション能力の向上
様々な人との関わり（地域の方々や異年齢との交流等）
豊かな体験活動
各学年の発達の段階や児童の実態に応じた「北九州つながりプログラム」（対人スキルアップ）の実施
- 「私たちの道徳」（文部科学省）や人権学習教材「新版いのち」（北九州市教育委員会）等の資料の有効活用と
家庭との連携促進

相手の立場や心情の理解・
道徳的価値への気づき

(2) 「豊かな体」を育てるために

- 体育科の授業における運動量の確保
- 新体力テストの全学年全種目継続実施
- 運動への関心を高め、運動に親しみ体力向上につながるような働きかけ
 - ・ 縄跳びタイムの継続実施
- 持久力大会とそれに向けた取組強化（ランランタイムなど）
- 規則正しい生活や望ましい食生活の実践化を目指した健康教育や食育の推進

(3) 「豊かな知識」を育てるために

- 授業改善・・・その学年の内容をその学年で確実に！
 - ・ 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着 → 繰り返しの指導の徹底
 - ・ どの教科においてもしっかりと考え、表現（書く・話す）する活動の充実
 - ・ 組織的・計画的に少人数指導やT T授業などを推進し、個に応じたきめ細かな指導の充実
 - ・ 問題解決的な学習展開 → 思考力・判断力・表現力等（活用する力）の育成
 - ・ 実践的・体験的活動の重視
- 学力向上のための特設時間の継続と内容の充実
 - ・ 朝自習時間の活用（チャレンジタイムや読書タイム等）
 - ・ 給食の準備時間の活用（パワーアップ教室）
- 学力向上強化期間の取組を、年間を通して実施
- 家庭学習（宿題を含む）の定着化に向けた取組（時間、学年別、教科別内容）
 - ・ 「家庭学習の約束」の再配布・実施・徹底
 - ・ 「家庭学習チャレンジハンドブック」の活用の徹底
 - ・ 家読（ウチドク）の推進
- 学習の基盤である基本的な生活習慣の改善促進 ← 家庭との連携強化
 - ・ 生活時間の見直し・改善（ゲームやテレビの時間の短縮と約束の励行）
 - ・ 早寝早起き朝ごはん ← 朝食摂食促進

※ 家庭学習の目安の時間
10分×学年の数
(宿題+自主学習)

「家庭生活・家庭学習が
んばり表」の継続実施